

事業所名

児童発達支援・放課後等デイサービス 成

支援プログラム（参考様式）

作成日

2025 年

1 月

22 日

法人（事業所）理念		私たちスタッフ一同はいつも何が子どもにとって一番大切かを考えて療育を提供します						
支援方針		本人の意思を尊重し気持ちに寄り添った支援を心がける。ストレングスに着目した支援で本人が持つ力を最大限に生かせるようサポートに努める。						
営業時間		10 時	0 分から	19 時	0 分まで	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容								
本人支援	健康・生活	健康で安定した生活の為、手洗い・排泄・衣服の着脱等の基本的技能の定着を支援する。おやつタイムやクッキング活動を通し食に関心を持ってもらう。ゆったり落ち着ける場所であるように安全に考慮した空間を提供する。						
	運動・感覚	トランポリンやマット、跳び箱や平均台・鉄棒を使った粗大運動で姿勢の維持やバランス感覚を育み全身発達を促す。絵を描く・お箸を使う、ハサミを使う、シール貼りといった手や指先を動かす微細運動を目的とした制作活動。縄跳びやドッジボール・サッカーなどの協調運動、粘土やスライム、公園の砂場などでの感触遊びを取り入れ楽しみながら感覚統合の向上を図る。						
	認知・行動	個々の困りごとに対してどのようにすれば解消されるのかを一緒に考え実際にやってみて本人に適した対処法を見つける。日にちや曜日感覚、時間の管理（スケジュールリング）空間把握などの認知形成を様々なツールを使って支援する。こだわりを強みに変えていけるよう特性に配慮した個別の療育を提供する。						
	言語コミュニケーション	感情を言語として表出できるようサポートしていく。小集団の中で自身の思いや意見を発表する機会を設ける。より良いコミュニケーションスキル獲得の為SSTを行う。トラブルを想定したロールプレイングを行う。（実際に言われて嬉しい言葉、不快な言葉を体感してもらうなど）						
	人間関係社会性	見立て遊びやごっこ遊びで言葉の発達や想像力を育む。集団活動ではルールのある遊びを通して協調性や他者に共感する力を育む。活動時の役割分担やお手伝いなど他者と協力したり他者からの期待に応えるといった経験から自身の感情をコントロールすることを習得したり、自己肯定感を高める。						
家族支援		送迎時の会話や連絡ノート、メールを活用し、保護者の悩みや困りごとを傾聴し共に考える。定期的な面談でニーズの把握。			移行支援		家庭保育から園→小学校→中学校→高校へとスムーズな移行ができるよう連携を図る。	
地域支援・地域連携		相談支援員の定期的な訪問を受け事業所の活動内容を知ってもらいサービスが必要な家庭に繋いでもらう。自立支援協議会が主催する全体会への出席。今後は社会福祉法人や就労支援施設が開催するイベントへの参加も検討していく。			職員の質の向上		ミーティングでの情報共有と意識の統一。講習会や研修への参加で知識・技能の向上に努める。資格取得のための勉強。	
主な行事等		お正月遊びや豆まき、夏まつり、ハロウィンパーティーやクリスマス会など各月のテーマに沿ったイベント。大型公園や動物園、プール、味覚狩りといった季節を感じられるお出かけ。						